

2021 年 7 月 7 日

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟
2022 北京パラリンピック競技大会 選手推薦基本方針

日本障害者スキー連盟強化本部

■選考方針

2021 年 3 月 11 日付、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会(以降：JPC)の通知による「日本代表選手団編成方針」及び「選手選考基準」に基づき、日本障害者スキー連盟強化本部内に設置する北京 2022 パラリンピック冬季競技大会日本代表選手選考委員会(以降：選考委員会)が選考し、日本障害者スキー連盟の常任理事会での承認を経て、JPC へ推薦する。

＊JPC「日本代表選手団編成方針」

- (1)日本代表選手団は、パラリンピックムーブメントの推進に寄与するとともに、社会規範を遵守し、公平性・誠実性・協調性に基づき行動できる選手・役員をもって編成する。
- (2)選手は、競技団体から推薦された者で国民の期待に応え得る競技力及び人間力を有する者とし、役員は、競技団体から推薦された者で障がいの種類、程度や背別に配慮し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートできる者とする。

＊JPC「選手選考基準」

日本代表選手は、国民の期待に応え得る競技力並びに人間力を有する者として競技団体から推薦された候補者で、次の全ての条件を満たす者とする。

- (1) 北京 2022 パラリンピック冬季競技大会の参加資格を満たしている者
- (2) 医学的観点から日本代表選手として推薦できる者
- (3) メダル獲得または入賞の可能性のある者

■選考対象基準

- 1.1) ～ 1.4) を全て満たしていること。
- 1.1) 国際パラリンピック委員会が定める「北京 2022 パラリンピック冬季大会」の出場資格を満たしていること。なお、最低年齢、レースポイント要件は各競技・種目によって異なる。
- 1.2) 2020 年度本連盟登録会員であり、2021 年度も会員として登録する予定であること
- 1.3) 2021 年度強化指定選手であること
- 1.4) 2020/2021 シーズン及び 2021/2022 シーズンに有効な WPAS、WPNS または WPSB のライセンスを所有していること。

なんらかの理由で、北京 2022 パラリンピック冬季競技大会の参加資格を満たしていない場合は「保留扱い」として、JPC に仮推薦することがある。2022 年 2 月 14 日までに出場資格を満たした場合は推薦が決定する。

■選考要素

推薦者選考に際し、以下の要素を選考根拠として採用し、選考者が求める他の要素と併せて採用することとする。

- 1) 当該年度のパラリンピック冬季競技大会出場資格保有者
出場資格保有者のみ参加が認められる。
- 2) 当該年度のパラリンピック冬季競技大会出場枠獲得者
独自にパラリンピック冬季競技大会参加枠獲得のためのクライテリアを満たした者(国別枠の獲得に貢献した者)に対し配慮する。
- 3) 競技会成績
WPSS 公認大会において、JPC の定める「パラリンピック冬季競技大会 日本代表選手団編成方針及び選手選考基準」の数値的要素(入賞=8位以内)を満たしていること。
- 4) 遠征・合宿における技術的な評価
成績が基準に及ばない場合、遠征・合宿への取り組みを、他の推薦者との公正・公平性を示すことができるよう、具体的な内容を明記して評価する。
- 5) アンチ・ドーピングに関する取り組み
アンチ・ドーピングに関する取り組みが十分であること。
- 6) コンプライアンス、インテグリティ、マナー、ルール遵守
上記カテゴリーに関して、不安要素が見受けられないこと。
- 7) 健康状態
パラリンピック冬季競技大会に出場し、求められる成果を得られるコンディションであること。

■2022 北京パラリンピック冬季競技大会推薦選手選考委員会(以降：選考委員会)について

- 1) 強化本部内に設置する。
- 2) 構成員は以下とする。
強化本部長および強化副本部長のうち2または3名、各競技の委員長、各競技ヘッドコーチ

■選考・推薦の手順

- 1) 各委員長は、候補者リストを推薦の根拠とする資料(大会参加資格、公式ランキング、記録など)を添え、強化本部に提出する。
- 2) 強化本部は、北京 2022 パラリンピック競技大会推薦選手選考委員会(以降：選考委員会)は推薦基準に基づき候補者を審査し、その結果を常任理事会に報告する。
- 3) 日本障害者スキー連盟は、常任理事会での承認を経たのち、選考結果を公表する
- 4) 日本障害者スキー連盟は、JPC へ推薦する。

■通知と公表

- 1) 強化本部は、選考対象選手に対してこの基本方針を説明する。選考結果について、選考後に選考対象選手に対して通知をする。選考対象選手は、強化本部に対して選考決定に関する説明を

求めることができる。

- 2) 選手推薦基本方針、および選考結果は、日本障害者スキー連盟ホームページにて発表する。

■不服申し立て

- 1) 選考対象選手は、選考が基準の手続きに則って行われていないこと、または選考過程で情実が行われた場合に、不服申し立てを行うことができる。
- 2) 選考結果に対する不服があるときは、公表後7日以内に当連盟事務局まで電子メールにて、申し立てを通知する。
- 3) 連盟は、申し立てがあった場合、不服審査委員会を設置し、その申し立てを審査する。委員会は選手等の選考基準が本連盟の代表選手推薦基本方針に適合しているか審議するとともに、選考が事前に開示された選考手続きに沿って行われたかどうか検証し、理事会に報告しなければならない。
- 4) また、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（以下、JSAA）に仲裁申立をすることも出来る。その場合、本連盟不服申し立ては終了し、JSAA の手続きによる。

■感染症による国際大会中止・延期の影響について

2019/20 シーズン終盤より、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界選手権大会やワールドカップなどの国際大会の中止や延期に加え、大会に参加できない選手・チームもいるなどの状況が続いている。そのため、競技力を国際標準で正しく評価することが困難な側面もあり、今回は、パラリンピックシーズン（2021/22）の大会結果も加味して、選考を行う。

■選考に前後して必要な準備と日程

推薦選手が決定される前後に、対象となる選手は準備として WPS、JPC、連盟に対して 様々な手続きが必要である。正式には別途通知するが、概ねその時期や、提出書類及びその 対象選手は下記に示す通りである。（2021 年 5 月現在）

2021 年 10 月頃まで メディカルチェック受診

2021 年 10 月 10 日まで

- 1) 北京 2022 パラリンピックのアクレディテーション関係書類の提出
- 2) 北京 2022 パラリンピックの推薦調書関係書類の提出

※北京大会に日本代表として参加する可能性のある全選手および役員について、上記書類を提出する。書類の提出をしても選手・役員に選出されない場合がある。

2021 年 10 月頃 ユニフォーム採寸

2021 年 12 月頃 JPC 強化委員会による推薦者に関する競技団体ヒアリング

2022 年 1 月 JPC 運営委員会による選手団決定、JPC による 選手団 1 次決定／記者発表

■推薦選手選考の枠数

2021 年 6 月 1 日に、IPC から配分され、6 月 9 日開催の強化本部会議での決定に基づき、JPS より JPC に対して回答した以下、選手枠(スロット)の範囲内で選考する。バイパルタイト招待枠につい

ては、競技ごとに定めた方針と基準により、JPC を通じて IPC に推薦する。また、枠の追加配分がされた場合の対応は別途、強化本部にて協議する。

アルペン : 男子 8 枠、女子 4 枠

ノルディック : 男子 4 枠、女子 3 枠

スノーボード : 男子 5 枠 (*SB-UL : 1 枠, SB-LL1 : 2 枠, SB-LL2 : 2 枠)

*2021 年 6 月 22 日、WPSB からの通知に基づく

■バイパルタイト招待枠推薦および未使用出場枠の再配分について

北京パラリンピック出場資格規定は下記のとおり。

参照) [Beijing 2022 Qualification Criteria](#)

1) バイパルタイト招待枠について】

北京パラリンピックでは、基本選考方式を原則としつつ、一定の出場枠の割り当てについて、「バイパルタイト委員会招待割り当て方式」が採用される。

招待枠の付与は IPC の裁量に委ねられ、通常は以下の原則に基づいて割り当てられる。

- ・ 特殊な状況により、正式な選考機会を得ることができなかったトップ選手の参加を認める場合
- ・ 特殊なサポートを必要とする選手の代表として参加を認める場合
- ・ メダル対象種目を成立させるために、十分な人数の代表選手を確保する場合、および
- ・ 男女それぞれから十分な人数の代表者を確保する場合。

<スケジュールおよび申請手続き>

NPC は、バイパルタイト招待枠の候補選手を、2022 年 1 月 10 日から 2 月 7 日までの期間中に、IPC に提案することができる。候補選手は出場要件に関する一般規定および各競技の出場要件を満たしている必要がある。バイパルタイトに関するすべての決定は最終的なものであり、抗議や上訴は認められない。

2) 未使用出場枠の再配分について

出場枠が割り当てられなかった、または最終エントリーの期日後 (=2022.2.18) も使用されなかった場合、IPC 独自の裁量により、再配分される可能性がある。抗議や上訴は認められない。

■その他注意事項

- 1) 国際パラリンピック委員会(IPC)が Qualification Criteria を変更・修正した場合や、大会が延期となった場合は必要に応じて本基準も変更する場合がある。
- 2) 新型コロナウイルス感染症の影響により選出が困難になったと理事会が認めた場合は変更する場合がある。

選手推薦基準（アルペン）

I. 選考対象

以下の要件をすべて満たしている選手を選考対象とする。

- 1) 2020/2021 シーズン及び 2021/2022 シーズンに有効な WPAS ライセンスを所有している選手
- 2) 国際競技クラスを割り当てられ、競技クラスステータスが「確定済み（C クラス）」、または再評価の日程が 2021/2022 シーズン以降に設定された「再評価（R クラス）」である選手
- 3) 2006 年またはそれ以前に生まれている選手
- 4) WPAS のレースポイント獲得期限および WPAS ポイントランキングの要件

技術系種目：

2022 年 2 月 14 日までに、2021/2022 シーズンに技術系種目のレースに少なくとも 1 回出場してレースポイントを獲得していること かつ

2022 年 2 月 14 日の時点で、WPAS スラロームまたは WPAS ジャイアントスラロームのランキングで、WPAS ポイントが男子は 220 ポイント以下、女子は 240 ポイント以下であること

高速系種目：

2022 年 2 月 14 日までに、2021/2022 シーズンに高速系種目のレースに少なくとも 1 回出場してレースポイントを獲得していること かつ

2022 年 2 月 14 日の時点で、WPAS ダウンヒル、WPAS スーパーG、WPAS スーパーコンバインド いずれかのランキング（スーパーコンバインドについてのみ）で、WPAS ポイントが男子は 180 ポイント 以下、女子は 180 ポイント以下であること

II 選考基準及び選考日程

◇第 1 次選考 2021 年 7 月 17 日

2020/2021 シーズン WPAS ベースリスト（BL）を基にワールドカップ出場条件を 3 種目以上満たしている選手。ただし、Injury status 選手は除く。

◇第 2 次選考 2021 年 12 月下旬

2022/1 月更新の WPAS ポイントリストでワールドカップ出場条件 3 種目以上を満たすことが確実な選手。もしくは 2021/12 月開催 WPAS ワールドカップにて種目問わず一度でも 8 位以内の成績を収めた選手。（カテゴリーにおいての出場人数が 10 人以下の場合は表 1 の基準とする）

◇第 3 次選考 2022 年 1 月下旬

2022 WPAS 世界選手権（ノルウェー）のレースリザルトでワールドカップ出場条件 3 種目以上満たすことが確実な選手。もしくは 2022 世界選手権（ノルウェー）にて種目問わず一度でも 8 位

以内の成績を収めた選手。

(カテゴリーにおいての出場人数が10人以下の場合は表1の基準とする)

◇バイパルタイト招待枠推薦について

2次、3次選考基準を満たした選手を対象とする。

3次選考終了時に枠数以上に基準を満たした選手がいた場合、優先順位は種目問わず選考対象レースの最高順位とする。同順位の場合は次の順位とする。

※WPAS 公認大会が開催されない、または公認大会に選手を派遣しない場合

国内にて最終選考会を2種目以上行い、リザルトによる獲得ポイントから表2の基準を1種目でもクリアした選手とする。(バイパルタイト招待枠推薦についても同様)

上記によっても選出できない場合は選手枠(スロット)を返上する。

表1

出場人数	基準順位	出場人数	基準順位
3人以下	1位	7人	5位以内
4人	2位以内	8人	6位以内
5人	3位以内	9人	7位以内
6人	4位以内	10人	8位以内

表2

女子立位	女子座位	男子立位	男子座位
130ポイント以内	150ポイント以内	100ポイント以内	120ポイント以内

選手推薦基準（ノルディック）

I 選考対象および基準

＊WPNS・派遣基準・メダル・入賞等のポイントの詳細は【別記】参照

1. 2020/21 ワールドカップにおいて、下記の成績を一度でも収めた選手
 - (1) メダル獲得（1～3位の成績）
 - (2) 入賞（6位以内の成績）
2. 2021.5.3時点での2シーズンの総合WPNSポイントが70以下の選手
3. 2020/21 シーズン日本チームWPNSポイントランキングの最上位の選手
＊1～3で選出された選手を除いた最上位の選手とする
4. 選考委員会が定める派遣基準ポイントを2020/21-2021/22シーズンの国際大会でクリアした選手
＊派遣基準ポイントは以下に設定する。

基準A：60ポイント 基準B：70ポイント

- (1) 1次選考：2020/21シーズンの国際大会の成績による
派遣基準ポイントAを下記条件のどちらかでクリアした選手
 - ・メダルポイントを1度でもクリアした選手
 - ・入賞ポイントを2度クリアした選手

(2) 2次選考および3次選考：

2次選考：2021年12月ワールドカップカナダ大会までの国際大会の成績による

3次選考：2022年1月ノルウェー世界選手権大会までの国際大会の成績による

①派遣基準ポイントAを下記条件のどちらかでクリアした選手

- ・メダルポイントを1度でもクリアした選手
- ・入賞ポイントを2度クリアした選手

②派遣基準ポイントBを下記条件のどちらかでクリアした選手

- ・メダルポイントを1度でもクリアした選手
- ・入賞ポイントを2度クリアした選手

③派遣基準ポイントBを下記条件でクリアした選手

- ・入賞ポイントを1度でもクリアした選手

＊上記条項で、基準ポイントをクリアした選手数が、出場使用枠数を越えた場合は、

- a. ポイントの内容（クリアした回数、時期、大小、伸び等）を総合的に検討して選出する。
- b. 上記a.の総合的な検討内容が拮抗する（選出する理由を十分に説明できない）場合は、下記の条項5（2）にある選考レースを設定し、選出する。

5. 条項4までで、選出選手数が出場使用枠数に満たない場合

- (1) 入賞ポイントの内容及びチーム資料（強化合宿でのタイムトライアル結果、時速換算数値、タイムの伸び）等から入賞の可能性・将来性を総合的に判断して、選出する。

(2) 選考レースを下記大会等に指定して、その結果を基に選出する。

- ・国内大会：全日本障害者クロスカントリースキー大会（旭川：12月）
- ・その他：選考委員会が設定するレース（12～1月）

なお、選考レースを実施する場合には、当該選手に選考基準を事前に明示する。

＊上記によっても、選出できない場合は、選手枠(スロット)を返上する。

II 選考日程とプロセス

◇第1次選考（2021年7月17日）：2020/21シーズン国際大会の成績による

2021年5月3日までに、選考基準の1～4（1）を満たした選手

◇第2次選考（2021年12月）：ワールドカップ カナダ大会までの国際大会の成績による

2021年12月ワールドカップカナダ大会終了時まで、選考基準4（2）を満たした選手

◇第3次選考（2022年1月）：ノルウェー世界選手権大会までの国際大会の成績による

2022年1月ノルウェー世界選手権大会終了時まで、選考基準4（2）を満たした選手

＊選考委員会の設定するレースによる選考（2次・3次選考に関わって）

コロナ影響により、大会が中止になった場合や、選手の健康事情等（選考委員会がその事情を認めたもの）、及び同大会の結果により、更に選考が必要となった場合に限り、国内大会を選考レースとして指定、または選考委員会にてレースを設定する場合がある。

◇パイパルタイト招待枠推薦について

必要に応じて第3次選考と併せて検討する。

【別記：ポイントについて】

*1 WPNS ポイント

パラノルディック競技で国際的に標準化されたポイント。優勝者からのタイム差により算出され、ポイントが小さいほど優勝タイムに近い（速い選手という）評価となる。

2021 年 5 月 3 日時点での総合 WPNS ポイントが北京パラリンピックの出場枠の基準となる。

*2 派遣基準ポイント及びメダル・入賞ポイント

①WPNS ポイントを活用する。

②WPNS ポイントは、定められた下記の計算式により、優勝者からのタイム差で算出される。

計算式：WPNS ポイント＝（当該選手タイム/優勝タイム－1）×600

③メダルと入賞の可能性を評価するために、この計算式の基準タイムを優勝タイムから、下記のように 3 位タイム・6 位タイムに置き換えて、独自のポイントを算出する。

- ・WC 3 位選手のタイムを基準にしたポイント（以降：メダルポイントという）
- ・WC 6 位選手のタイムを基準にしたポイント（以降：入賞ポイントという）

【例】KK 選手の評価に用いるポイント（少数以下を四捨五入する。略記 P）

基準選手	タイム	・ KK 選手の基準選手に対するポイントと説明
優勝選手	20:00.0	・ 150P = WPNS ポイント（優勝までのポイント差）
3 位選手	21:00.0	・ 103P = メダルポイント（メダルまでのポイント差）
6 位選手	24:00.0	・ 52P = 入賞ポイント（入賞までのポイント差）
KK 選手	25:00.0	

④メダル・入賞ポイントに基づき、当該選手のメダル獲得及び入賞への可能性を評価する。

⑤その評価の「基準（尺度）」となる数値が、派遣基準ポイントとなる。

⑥派遣基準ポイントは、これまでの国際大会の成績結果から、メダル・入賞への可能性を統計的に算出し、選考委員会が定める。

【例】派遣基準ポイント 60P の場合、上記例の KK 選手について

- ・ WPNS ポイント 150P は、派遣基準ポイント 60P をクリアできていない。
 - ・ メダルポイント 103P は、派遣基準ポイント 60P をクリアできていない。
 - ・ 入賞ポイント 52P は、派遣基準ポイント 60P をクリアできた。
- 評価：KK 選手は、入賞ポイントに対して、派遣基準を 1 度クリアした。

⑦派遣基準ポイントは A・B の 2 段階を定める。

- ・ 基準 B：目標とする基準（メダル・入賞）に対して、逆転可能な統計的なポイント差
- ・ 基準 A：基準 B から 10 を減じた数値（より逆転の可能性が高まるポイント差）

*北京パラリンピックの派遣基準ポイントは、2014 ソチ・2018 平昌パラリンピック及び最新の国際大会の WPNS ポイントの統計から、基準 A：60P、基準 B：70P と定める。

選手推薦基準（スノーボード）

I 選考対象

- ・対象期間は 2020/2021 シーズンから 2021/2022 シーズンの WPSB 世界選手権(NOR=2022/1/23)までとする。
- ・対象競技会は WPSB 世界選手権(NOR)および WPSB ワールドカップとする。
- ・実施予定である対象競技会が全て中止となった場合、既に獲得済みの成績を採用する。

II 選考基準

以下の優先順位にて推薦者を選考する。

第1優先順位：対象競技会において表彰台を獲得した選手の中から選考する。

第2優先順位：対象競技会において7位以内の順位を複数回獲得した選手の中から選考する。

注1) 獲得順位が同順位であった場合、そのなかの最も優秀な成績を採用し優先順位を決める。

(例1および例2参照)

注2) 獲得順位が全て同じであった場合、予選における最高順位を採用し優先順位を決める。

例1

対象者	競技会1	競技会2	競技会3	備考
A選手	SBX=5位	BSL=5位	BSL=6位	競技会1は20/21シーズンの成績
B選手	SBX=4位	SBX=5位	BSL=7位	

最高成績はB選手の4位がA選手を上回るのでB選手を推薦する

例2

対象者	競技会1	競技会2	競技会3	競技会4	競技会5
A選手	SBX=5位	BSL=6位	BSL=7位	BSL=5位	BSL=7位
B選手	BSL=5位	SBX=6位	SBX=7位	SBX=5位	SBX=6位

最高成績はA・B選手同順位だが、B選手が上から5つ目の優秀な成績である競技会5にてA選手を上回るため、B選手を推薦する

例3

対象者	競技会1	競技会2	競技会3	最高予選順位	※備考
A選手	SBX=5位	BSL=6位	BSL=5位	2位※	競技会1
B選手	BSL=5位	SBX=6位	SBX=5位	7位※	競技会3

最高成績はA・B選手全て同順位だが、A選手が競技会1にての最高予選順位がB選手を上回るため、A選手を推薦する。

順位が全て同じであった場合、予選における最高順位を採用し優先順位を決める。

第3優先順位：対象競技会において7位以内の順位を獲得した選手の中から選考する。

Ⅲ選考日程とプロセス

◇1次選考(2021年7月17日)

第1優先順位の対象となる選手を選考する。

◇2次選考

2021年12月までのWPSB・ワールドカップの成績までを対象とし、WPSBより付与された国別出場枠より1次選考選手を除いた人数を上限とし、優先順位順に選考された選手を選考する。

◇3次選考

2022年1月、WPSB世界選手権(NOR)終了後、2次選考で選外となった選手の中から選考する。但し、バイパルタイト推薦申請対象者の場合は、JPCに対して当連盟より推薦を行い、JPCよりIPCへの推薦申請手続き後、IPCのバイパルタイト委員会による申請の可否によって決定される。

◇バイパルタイト招待枠推薦について

WPSBから与えられたクラス別枠数を超える選考対象数があるクラスについて、推薦の選考を行う。